

## 令和5年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号	105
------	-----

### 自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向け、自ら学び自ら考え、生き生きと豊かに表現できる児童生徒を育成</li> <li>・自他を尊重し、学校や地域で生き生きと生活できる児童生徒の育成</li> <li>・運動に親しみ、心身ともに健康で、明るく元気な児童生徒の育成</li> </ul>
評価する領域・分野 教育活動・学習活動	<p>I C T (※番号は学校評価のアンケート項目)</p> <p>25：学校は、一人一台タブレットの整備にともない、I C Tを活用した学習や、非常時のオンライン学習などに積極的に取り組んでいる。</p>
現状及びアンケートの結果分析等	<p>〈現状及びアンケートの結果〉</p> <p>一人一台タブレットの整備状況は児童生徒数に対し、GIGA 端末と言われるタブレットが少し足りていない状況である。日々の活用状況を見てみるとほとんどの学級で学習活動や教材の一部として I C T を活用した授業が行われている。以下、25のアンケートへの評価である。</p> <p>「あてはまる1+2」が全体の73%、「あてはまらない3+4」が9%、「わからない5」が18%であった。</p> <p>〈分析〉</p> <p>授業参観や学校行事でのタブレット端末を使った学習や成果発表が増えてきているが、コロナ禍の時と比べ、オンライン学習は減少している中で学校での活用状況が保護者へ伝わりにくいと感じている。</p>
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<p>◎各分掌との連携を図り、I C Tに関する教育環境を整備・推進を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報機器や情報資産の管理と効率的な校務の情報化推進を行う。(教務)</li> <li>・I C Tの教育活用の推進や教材開発の研修・啓発を進める。(研修)</li> <li>・視聴覚機器や支援機器の整備・管理を推進し、効果的な活用に努める。(学習支援)</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I C Tチームとして教務部3名、研修部2名、学習支援部3名が連携して取り組む。その中で「情報機器管理」と「情報機器活用」の係に分け、業務の効率化を目指したI C T活用と児童生徒の個別最適化された学びにつながるI C T機器の管理と活用を目指す。</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I C T機器の管理と活用を推進する。I C T連携会議を実施する。(全体)</li> <li>・校務用P C及びサーバー管理と効果的なグループウェアの運用、H Pによる情報発信を行う。また、校務の情報化推進を図る。(教務)</li> <li>・児童生徒用及び指導者用タブレットP Cの管理と定期的なメンテナンスを行う。(教務)</li> <li>・I C T活用や教材開発に関する研修や効果的な活用に関する情報発信を行う。(研修)</li> <li>・視聴覚機器の整備や支援機器の貸し出しを円滑に行う。(学習支援)</li> <li>・一人一台(GIGA 端末)の効果的な活用を推進する。(学習支援)</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I C T機器を活用した校務の情報化推進が図れたか。</li> <li>・I C T機器の管理やメンテナンス、貸し出し業務が円滑に行えたか。</li> <li>・I C T機器の活用研修の運営や活用に関する情報発信ができたか。</li> <li>・I C T機器を活用した授業が年間を通して実施できたか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループウェアと Teams の併用により、場面に応じた効果的な情報共有が図れた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外関係者や保護者へのアンケートに Forms を積極的に用いた。</li> <li>・ICT 機器の管理やメンテナンス、更新を定期的実施できた。</li> <li>・夏季休業中（悉皆研修）と放課後（自主研修）に計5回の自主的研修を企画、実施できた。</li> <li>・年間6回の ICT 連携会議を実施し、ICT チームと各学年情報係で日々の ICT 実践を交流し、まとめたものを発信した。</li> </ul>
評価の視点	評価
① ICT 機器を活用した校務の情報化を推進できたか。	A (B) C D
② ICT 機器の活用研修や活用に関する情報発信ができたか。	A (B) C D
③ ICT 機器を活用した授業実践ができたか。（タブレット端末を中心に評価）	A B (C) D
<b>成果・課題</b> ○タブレット端末が授業の活動や教材の一つとして定着しつつある。 ○ICT 連携会議で各学部の ICT 活用実践を交流し、まとめた実践を共有できた。 ★タブレット端末が足りていない現状があるため、小学部1年生には配布できていない。希望者のみ持ち帰りを実施しているが、少ないのが現状である。 ★また、オンライン授業の減少により、学校のみでタブレット端末を活用している現状に対し、活用場面がなかなか伝わりにくい。さらに、通信や懇談、授業参観等で活用について保護者へお知らせしていく必要がある。	総合評価 A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	・分掌組織を再度整理・検討し、引き続き ICT 機器活用等の周知を図る。

#### 学校関係者評価（令和6年2月27日実施）

<b>意見・要望・評価等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT チームは、各部からの職員のプロジェクトチームの構成で、現場と繋がりやすく良い。校務用PC及びサーバー管理と効果的なグループウェアの運用（グループウェアと Teams の併用など）がなされている。</li> <li>・保護者や地域への発信を考えると、ホームページの改善が必要。</li> </ul>
--